

団体名	広島県	所属	行政管理課	他団体等との連携	—
連絡先	行政情報化グループ (082) 513 - 2451				

取組事例名	ITを活用したワークスタイルの変革による職員の業務能率の向上	取組期間	平成23年9月～
--------------	--------------------------------	-------------	----------

取組の概要 ～ 「行政経営刷新計画」に基づくIT活用によるワークスタイルの変革

限られた予算・人員で多様化・高度化する県民ニーズに応えることが求められる中、平成22年12月に策定した「行政経営刷新計画」に基づき、最小の経費で最大の効果を発揮し、県民サービスのより一層の向上を図るため、効率的な組織体制の整備、職員の業務能率の向上などの行政改革に取り組むこととした。

その一環として、「ITを活用したワークスタイルの変革」による職員の業務能率の向上に取り組んでいる。

- (1) Web(ウェブ)会議システムの導入
- (2) 出張時等における庁外での業務支援
- (3) スレートデバイス(※)によるペーパーレス会議の実現

※「タブレットPC」や「iPad」など、フルタッチパネル型のモバイル端末の総称。

取組の背景 ～ 限られた予算・人員での生産性向上の必要性

社会情勢の変化等により、ますます多様化・高度化する県民ニーズに対応し、限られた予算と職員で、質の高いスピード感ある行政運営を行い、県民本位の施策を推進していくためには、ITを活用して、職員の業務能率の向上を図り、組織としての生産性を高めていくことが必要不可欠である。

取組のねらい ～ 職員の業務能率向上

- (1) Web(ウェブ)会議システムの導入
 - ア 遠隔地の関係者との資料を共有した会議を、関係者が参集することなく簡易かつ迅速に行えることにより、会議開催に係る日程調整の省力化を図ること。
 - イ 移動コスト(時間・経費)の削減を図ること。
- (2) 出張時等における庁外での業務支援
 - ア 「いつでも、どこでも」業務遂行が可能であること。
 - イ 紙資料持出し時の置忘れ等による情報漏えいリスクの発生を防ぐこと。
- (3) スレートデバイスによるペーパーレス会議の実現
 - ア 会議運営の円滑化・効率化を図ること。
 - イ 紙資料の印刷・配付・差替えに係るコピー等の事務の削減を図ること。
 - ウ 紙資料の削減による環境負荷の低減を図ること。



取組の具体的内容 ～ ITツールの積極的な活用

- (1) Web(ウェブ)会議システムの導入【平成23年9月から取組】
インターネットとパソコンを活用し、直接赴くことなく、遠隔地の関係者との会議等を可能とする「Web(ウェブ)会議システム」を導入
- (2) 出張時等における庁外での業務支援【平成24年1月から取組】
出張時のメール確認や庁外会議での資料確認など、庁外から庁内システムの利用を可能とするリモートアクセスシステムを導入
- (3) スレートデバイスによるペーパーレス会議の実現【平成24年7月から取組】
スレートデバイス(iPad)を活用した「ペーパーレス会議システム」を導入し、会議を運営(毎週開催の経営戦略会議及び経営戦略スタッフ会議において利用)

取組を進めていく中での課題・問題点 ～ 利用の促進

導入したITの、職員への周知と利用促進が課題である。

創意工夫した点 ～ 利用体験機会の設定

職員が実際に利用を体験できる場を設けて、機器設置やシステムの操作が容易であること及び映像・音声・画面共有の機能等を実感してもらうための「デモ体験会」を開催した。

開催に当たっては、事前の申し込みを不要とし、さらには、参加者の都合の良い時に立ち寄って体験できるスタイルとする等、職員が参加しやすくなるよう配慮した。

参加者へのアンケート結果によると、これまでは「操作が難しそう」、「設定に時間がかかりそう」との印象を持っていたが、実際に操作してみると「意外に簡単」との意見が多く、アンケート回答者の約8割が「活用予定」・「活用検討」と回答するなど極めて好評であり、職員への周知と利用促進につながった。

取組の成果（効果） ～ 会議の活性化、庁外における業務の効率化など

(1) Web(ウェブ)会議システムの導入

- ア 広島往復の日程確保が不要となる等、会議開催に係る日程調整が容易になったこと。
- イ 会議開催に係る旅費が不要となる等、移動コスト（時間・経費）の削減が図られたこと。

(2) 出張時等における庁外での業務支援

- ア 「いつでも、どこでも」業務遂行が可能となり、生産性の向上が図られたこと。
- イ 庁外会議中に議事録作成が可能となり、庁内関係者との即時情報共有が図られたこと。
- ウ 庁外での事業プレゼンテーション時にパソコンを活用することにより、情報訴求力の向上が図られたこと。
- エ 紙資料持ち出し時の置忘れ等による情報漏えいリスクの低減が図られたこと。

(3) スレートデバイスによるペーパーレス会議の実現

- ア グラフやカラーを多用した資料の活用や説明箇所の瞬時の共有化により、会議運営の円滑化・効率化が図られたこと。
- イ 従前の紙資料の印刷・配付・差し替えに係るコピー等の対応の解消による業務能率の向上が図られたこと。
- ウ 会議終了後には、資料をファイリングする必要がなく、保管スペースも不要となったこと。

今後の展開 ～ より一層の環境整備

こうした取組により、一定の効果が上がってきているところではあるが、「いつでもどこでも同じ生産性で同じ情報にアクセスでき、同じ応答性が得られる環境」の整備を図り、より一層の業務能率の向上に取り組むこととしている。

他団体へのアドバイス ～ 利用促進を図っていく仕掛け

「IT活用＝難しい」といったイメージを払拭し、利用促進を図っていく仕掛けを工夫していくことが必要である。